



ほうへいかいほう

Vol.87 2021.9.15

豊平會報

北海学園大学同窓会 ● 編集責任者 / 高田哲也 〒062-8605 札幌市豊平区旭町4丁目1-40 TEL 011-841-1161



北海学園大

C O N T E N T S

- 2 追悼 森本正夫会長
- 5 令和3年度臨時評議員会開催
- 6 各行事の開催中止について / 同窓会役員改選
- 7 輝く北のまち紹介リレー 浦白町
- 8 OPEN SPACE
- 10 令和2年度事業報告 / 令和3年度事業計画
- 11 令和2年度収支決算書 / 監査報告書 / 令和3年度予算
- 12 クラブ・サークル活動通信 / 事務局からのお知らせ

追悼

森本正夫会長



森本正夫北海学園大学同窓会会長・学校法人北海学園前理事長・名誉学園長・北海道商科大学前学長が病氣療養中のところ令和3年6月1日89歳にて逝去いたしました。葬儀と告別式は近親者のみで行われ、学校法人北海学園として「お別れの会」が7月10日(土) ホテル札幌ガーデンパレスにて執り行われました。新型コロナウイルス感染防止のためマスク着用と検温、手指消毒、ソーシャルディスタンス確保のもと献花のみの実施となりましたが、600名を超えられた方が参列されました。

参列者は森本会長の遺影が掲げられた祭壇に献花しながら、在りし日を偲び別れを惜しんでいました。長くお付き合いのありました方々からの追悼の辞を4頁に掲載いたします。





略歴

昭和 6年 10月 3日 札幌市に生まれる
 昭和 30年 3月 北海学園大学経済学部経済学科卒業
 昭和 32年 9月 北海道大学大学院農学研究科修士課程修了
 昭和 44年 2月 学校法人北海学園評議員
 昭和 45年 4月 北海学園大学教授
 昭和 51年 1月 学校法人北海学園理事長
 昭和 54年 7月 北海学園大学同窓会会長就任
 平成 3年 4月 北海学園北見大学（現北海商科大学）学長
 平成 14年 4月 北海学園大学名誉教授
 令和 3年 6月 1日 89歳で永眠される

受賞・受章

平成 3年 8月 モンゴル人民共和国「教育功労者」
 （モンゴル国教育省教育大臣授与）
 平成 6年 11月 北海道社会貢献賞（私学教育功績者）
 平成 7年 11月 藍綬褒章（教育振興功労）
 平成 9年 11月 私立中学高等学校教育振興功労者表彰
 平成 13年 11月 札幌市市政功労者表彰
 平成 16年 11月 旭日重光章（私学振興功労）
 平成 17年 11月 北海道功労賞
 （教育学術の振興と北海道総合開発の推進）
 令和 3年 6月 1日 正四位 拝受



初めての「ホームカミングデー」（2008年10月11日）では、森本会長の先導で豊平キャンパスのほか、国際会議場や北海商科大学などキャンパス見学会と懇親会が行われ、卒業生の方々と懐かしい時間を過ごしました。



総会・懇親会「同窓の夕べ」（2012年10月20日）にて、新しく設立された支部に支部旗を授与する森本会長

「卒業祝賀会・新会員入会歓迎会」（2019年3月21日）にて、卒業生に同窓会入会の歓迎挨拶をする森本会長

森本正夫先生を偲んで

森本ゼミ会 副会長 堂徳 将人

森本正夫先生を偲んで、森本ゼミ会より深甚なる哀悼の意を表します。

先生の学校経営、私学教育振興、教育研究、地域貢献、国際交流活動等に係る不朽の業績は、枚挙にいとまがありません。その原点は教育者としての真摯な実践にあったものと思えます。先生は昭和35年から40余年にわたり、ご専門の開発政策、地域開発、観光開発論のゼミナールを担当され、約千名余の大学・大学院(修士・博士)で学ぶゼミ生を指導されました。ゼミでは理論研究と実証分析で得た深い知見をもつて、学生の主体性・協働的な学びを引き出されるときに、先生の教育観「教育とは人間を人間にすること」を率先垂範されました。

平成7年には先生の藍綬褒章受章祝賀会にゼミ生が集い、森本ゼミ会が発足しました。この種の会は恩師を囲み会員相互の親睦を深めるのが一般的でしょう。しかし、森本ゼ



研修ゼミナーで講師を務める森本先生 (平成19年)

ミ会は「会員相互の親睦と研修、北海学園設置校の発展と向上に寄与する(会則第1条)」ことを目的としています。毎年開催する研修会では森本先生をはじめ会員が講師となつて「研修ゼミナー」を実施し、終了後の懇親会に時宜を得た話題を提供します。また、ゼミ生の回想や活躍情報等を掲載した「会報(謝学)」の発行、さらには、北海学園で学ぶ学生・生徒のための「森本奨学金造成事業」を推進しています。四半世紀にわたるゼミ会活動には、会員976名(一般会員886名、特別会員90名)、研修会参加者約1600名が参画し、森本奨学金の寄付は延べ760件(会員・篤志家)・総額は平成17年度に1億円を超え、平成27年度からは120名余の学生・生徒に支給されています。

昨今の教育・経営は過度に短期的な成果を求めると指摘されますが、人格の完成を目的とする教育においては、先生の教育人生を貫く「人間教育の模索とその反芻」を継続することが重要であり、それは北海学園の安定・発展の礎です。先生が「世界に視野を拡げ」「進取の気概を持ち」「感謝を忘れず」「健康に留意し」「学生を大事にせよ」と笑顔で語りかけるお姿は、情意投合、心に深く刻まれています。森本正夫先生のご逝去を悼み、謹んでご冥福をお祈りいたします。

森本正夫先生との思い出

三期会 会長 宮崎 文彦

在りし日の森本正夫先生のお姿を偲びつつ、心よりご冥福をお祈りいたします。

森本先生とは数々の思い出がありますが、三期会の大学卒業50周年記念祝賀会のことを書きます。祝賀会は平成18年9月9日(土)ホテルノースシティで行いました。当日は42名の皆さんが出席されました。

ご出席いただいた森本先生は会場に着くなり「みんな元気だなあ」と感心していました。先生は私たちの1年先輩で2期生です。祝辞をいただきましたが、「いくつか皆さんに話をしておいた方がよいと思うので……」と前置されて、学生時代を懐かしみながら次のようにスピーチしました。

「昭和25年に短大制度が出来たのですが、将来札幌大学を作ること考えていましたので、その事を前提に札幌短期大学の名称で文部省に設立申請書を提出しました。ところがその3日前に同名の申請書が出されていたのです。それで止むなく、北海短期大学で書類を出し直しました。ですから2年後の4年制大学の申請書も北海学園大学となったのです。本来なら皆さんが1期生なんです、短大が昇格したので1、2、3年が同時に認可された訳です。

創設期には色々特色のある先生、多様な学生がいましたね。私も含めて皆さんもそうです。あの時代は1、2、3期なんていう区別はなく多才な人材が出ましたね。ここに新居さん(彩木雅志)がいますが、彼が作曲した「長崎は今日も雨だった」など、私も愛唱していました。

もうひとつ。これは云うか云うまいか迷ったのですが、皆さんの卒業祝賀会の時、上原学長が挨拶して乾杯となつたらもう飲んでい

る連中がいる。そうしたら熱血漢の三森先生が激怒して「君たちに卒業証書は渡せない」と円い筒を取りあげて歩いていった。あれは絶対忘れませんね。もう50年経つたのかと感慨無量の皆さん

の顔を見ながら考えました。それから日本で初めて地下鉄が学内に入りました。私の政治力ではありません。書類を見たら「学園前駅」とあって、学園の中に入る駅ではない。ところが駅予定地が買い占められていました。それで困つた市長が私のところに来て「学園内に駅を作らせてください」というんです。出口は1、2番が学内にあり、今度道路を挟んで向い側に4番目の出口が出来ますが、これは道住宅供給公社の土地を手したもので、北海商科大とロースクールを新築しました。

母校は心配ありません。同窓生がしっかりといるから社会的信頼があるのです。どうかお孫さんたちを母校に入れてください。ここはおじいちゃんが卒業した大学だと奨めてください。北海商科大学もよろしくお願ひします」





令和3年度
臨時評議員会開催
事業計画など原案どおり承認

令和3年8月19日(木)午後6時から札幌パークホテルにて令和3年度臨時評議員会が開催された。

新型コロナウイルス感染防止対策を徹底したなかで、卒業期93名、地域・職域支部47名、計140名(委任状含む)と同窓会役員48名(委任状含む)が出席した。

開会に先立ち6月1日に逝去された故森本正夫会長と物故会員に黙祷を捧げた。

開会、次第に基づいて進行され、関寛副会長より新型コロナウイルス感染拡大防止のため昨年引き続き、会議、行事等の自粛や延期、中止を余儀なくされ、各支部においても活動の自粛と延期をお願いしております。また、大学を取り巻く環境も一段と厳しく、皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げますとの挨拶があり、議長に藤本哲也氏(経済・昭和52年卒)、副議長に平野一紀氏(法学・昭和55年卒)、議事録署名人に卒業期から長尾晃氏(経済・昭和39年卒)、地域・職域支部から佐藤寿一氏(経済・昭和48年卒・札幌東区支部)を選出し、議事に入った。

第1・2号議案

令和2年度事業報告並びに収支決算について、事務局の大橋孝行と佐々木啓明から報告・会計監事を代表して横谷貞夫氏(短大土11・昭和39年卒)から監査報告が行われ、原案どおり承認された。

第3号議案

令和3年度事業計画(案)並びに予算(案)について、事務局の大橋孝行と佐々木啓明より説明が行われ、原案どおり承認された。

第4号議案

役員の選任について、第1回幹事会と副会長会議で検討した結果、森本会長逝去とコロナ禍において現体制のまま現行役員継続と、新会長の選任の件について慎重に進めたい旨の説明があり、承認された。

第5号議案

奨学金について、平成27年度より実施している北海学園大学同窓会奨学金規程並びに北海学園大学同窓会奨学支援実施細則に基づき、第1種同窓会奨学金は、今年度も実施し、大学の選出した奨学金候補者について同窓会の選考委員会にて審議を行い、承認された旨報告された。

また、コロナ禍で経済的に就学が困難な学生のため今年度も緊急措置として492万円を奨学金として支出することが了承された。

第6号議案

今後の対応について、新型コロナウイルス感染拡大防止のため12月までの会議、行事の開催中止と

各支部総会開催の自粛もしくは延期について説明が行われた。

(評議員会資料は、10・11頁に掲載)



コロナ禍における同窓会行事の開催中止について

日頃より同窓会活動にご支援・ご協力を賜り心よりお礼申し上げます。

同窓会におきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、活動の自粛または延期とする措置をとってまいりました。また、活動の再開時期についても検討を重ねてまいりましたが、いまだに収束の兆しが見えない状況を鑑み、誠に残念ではございますが、皆さまの健康と安全を考慮し、今年度においても「ホームカミングデー」(10月9日)、「全国支部長会議」・「同窓の夕べ(総会・懇親会)」(10月23日)の開催を中止とさせていただきます。

支部活動につきましても引き続き自粛もしくは延期としていただきますようお願い申し上げます。

同窓生の皆様におかれましては、長引くコロナ禍のなか、お仕事、生活面で大きな影響がでていることと思います。一日も早く平常の生活に戻られるようお願いしてやみません。

このような状況下において、大学を取り巻く環境も一段と厳しいものがございます。

同窓生の皆様のご理解と温かいご支援・ご協力を賜りまして、この難局を乗り越えてまいりたいと考えております。何卒宜しくようお願い申し上げます。

会長代理 名塩 良一郎

同窓会役員改選

任期満了に伴う役員改選で次のとおり決まりました。任期は、令和3年6月28日から令和6年6月27日までです。

幹事		会長代理	副会長	幹事	幹事	監事	事務局長																			
石澤 勝明 (法II法・3期昭44)	坂口 幸司 (経I営・32期平12)	左近 秀章 (経II営・28期平8)	澁谷 政憲 (経I営・26期平6)	小林米三郎 (経I営・17期昭60)	瀬戸 軍平 (経I営・6期昭49)	堀田 昌資 (経II営・2期昭45)	吉野 圭子 (経I経・44期平9)	藤原 佳世 (経I経・41期平6)	米田由美子 (経I経・37期平2)	日和 哲志 (経I経・21期昭49)	飛澤 茂夫 (経I経・18期昭46)	多田 康郎 (経I経・13期昭41)	杉山 隆俊 (経I経・13期昭41)	似鳥 昭雄 (経I経・13期昭41)	片桐 理 (経I経・10期昭38)	桂田 泰宏 (経I経・8期昭36)	小川 眞治 (経I経・8期昭36)	桑山 博年 (経I経・6期昭34)	宮崎 文彦 (経I経・3期昭31)	城 秀夫 (工・建・3期昭49)	宮本 雅次 (工・土・1期昭47)	板垣 俊夫 (法I法・5期昭46)	関 寛 (法I法・4期昭45)	大澤 定雄 (経I営・2期昭45)	名塩良一郎 (経I経・2期昭30)	村口 康博 (法I法・10期昭51)
							高田 哲也 (経I経・12期昭40)	横谷 貞夫 (短土II・1期昭39)	桜田 久 (経I経・12期昭40)	濱川 俊久 (工・建・8期昭54)	白鳥 健志 (工・建・2期昭48)	津島 慧 (工・建・1期昭47)	山本 秀康 (工・土・6期昭52)	須田 勝一 (工・土・3期昭49)	佐藤 進一 (工・土・1期昭47)	福岡 大樹 (人I日・8期平16)	馬場 康広 (人I日・4期平12)	船本 弘美 (法II法・39期平17)	佐藤 礼仁 (法I法・29期平7)	長谷川裕詞 (法I法・27期平5)	壽見 光昭 (法I法・23期平元)	成田真利子 (法II法・17期昭58)	松沢 秀明 (法I法・15期昭56)	片岡 廣幸 (法I法・14期昭55)	村岡 康博 (法I法・10期昭51)	

〔退任〕石田 俊平 (法I法・22期昭63) 平成27年より6年間ありがとうございました。

輝く北のまち 紹介リレー

うらうすちょう
13 浦臼町

～「地域資源」というたくさんの「宝」がきらめく魅力ある町～



人口：1,724人
面積：101.83km²
(令和3年6月末現在)

～多様な農産物に恵まれ特色ある歴史が息づく町～



川畑 智昭 浦臼町長
(昭和58年経済学部経済学科卒業)

まずは浦臼町の紹介をさせていただきます。本町は道都札幌市から北へ約60kmに位置し、東の町界に石狩川が流れる石狩平野に抱かれた自然豊かな人口1,724人、面積101.83km²の町です。鉄道マニアの方ならご存じかもしれませんが、昨年の4月、コロナ禍による緊急事態宣言により突然の廃線を迎えたJR札沼線が走っていた町もありました。地域の産業は、稲作を中心にミニトマトやそば、メロンなどの果菜類、町北部の丘陵地帯には広大なワイン用ブドウ畑と赤毛和牛の牧場が広がり、変わり種としては南国果実のマンゴーなど多様な農産物が生産される農業主体の町です。今でこそ一面の農地が広がっていますが、明治の中期、徳島県からの開拓団を皮切りに全国各地から入植が進み、未開の地は徐々に拓かれていきました。その開拓団の一つ、高知県からの入植者の中に、近代日本の立役者、坂本龍馬の一族がいたことはかなりの龍馬ファンでなければご存じの方には少ないと思います。北方開拓の夢を抱いていたとされる竜馬。その一族が北海道を訪れ本町に確かな足跡を残しており、証となるべき姉乙女に宛てた龍馬直筆の書状が開拓子孫に託され、現在は町の郷土史料館に所蔵されています。高知県の坂本龍馬記念館とも懇意にさせていただいており、最近も記念館の計らいによって坂本家第8代当主である画家の坂本直行氏愛用の机をご寄贈いただき、史料館に展示させていただきました。本学同窓会員の皆様には機会がありましたら是非本町にお越しいただき、龍馬との意外な縁に思いを馳せながら新鮮な農産物とワインをご堪能いただければ幸いです。

～公約は農業重視。もう一度農業を元気にしたい～

昨年の5月に初当選し現職となりましたが、公約の重点に上げたのが農業の活性化でした。かつて盛んだった商工業も現在では勢いを失い、町内の産業全体の生産額の大半を占めるのは農業、特に水稲であり不動産の主要産業となっています。「ゆめびりか」に代表される道産米の良質な生産地ですが、残念ながら食生活の多様化により米の消費は年々減少を続けており、また外国産米の輸入圧力もあり決して楽観できる状況にはありません。私が役場に就職した昭和59年当時の農家戸数は約460戸、それが今では160戸余りの農家が担っています。農地の集積は急激に進んでおり、一戸当たりの経営面積も限界に近づいています。5G回線が普及しスマート農業が普通になる時代はまだ少し先になりそうですが、農地の大区画化や高収益作物の導入、新規就農者の支援など手を付けるべきことはたくさんあります。元気な若手農業者を中心に意欲ある農家の積極的な挑戦を後押しし、今やれること、やるべきことに真っ正面から取り組んでいこうと思います。

～厄介者から貴重な資源に。ジビエ活用で新たな展開を～

今、全道の農村地帯で頭を悩ませているのがエゾシカやアライグマなどのいわゆる有害鳥獣による農作物被害だと思えます。以前より減少してきているとはいえ、令和元年度で47億円もの損失を被っており、早くから防護柵などの対応を取ってこられた自治体もありましたが完全に防ぐことはできません。本町は比較的被害の少ない地域でしたが、年々増加し駆除の要請も増えてきていたことと、近隣市町においても相当数が駆除されている実態があったことから令和元年にエゾシカ専用の加工処理施設「ジビエ処理加工センター」を開業いたしました。この施設は、農水省が平成30年度に捕獲収集から加工までを行う施設整備を後押しする「ジビエ倍増モデル整備事業」を創設し、全国で17のモデル地区の一つとして本町が選定され、鳥獣被害防止総合対策交付金を活用して建設したものです。実際の施設運営は食肉加工販売会社に指定管理者となつていただいておりますが、開業以来順調に入庫数が増えており、当初の想定数を上回る状況となっています。地元での駆除頭数も着実に増え農業被害の軽減につながる一方、ジビエとしての活用を積極的に進め新たな町の特産品として売り出しているよう商工会とタッグを組んで取り組んでいるところです。

～どの町も資源の宝庫。町民と築く新たな地方の時代～

昨年当初から続く新型コロナによって私たちの生活は一変し、今はワクチンの効果が社会全体に行き渡ること期待するばかりですが、一方でどんなにコロナに翻弄されていても地方の人口減少、少子高齢化という大きな流れは止まってはくれません。ただし、今回のコロナ禍が都市一極集中の弊害を露わにし地方回帰の機運を高めてくれたのも事実です。本稿ではこれまで町に存在する農産物に代表される「物」、明治の開拓期から連綿と息づく「歴史」、北海道ならではのスケール感を持った「景観」や生態系を含めた「自然環境」など貴重な資源として紹介してきました。地元で暮らしていると気付きにくいものですが、どこの町も個性的で魅力ある資源に溢れていますし、これに「人」という資源が加わることによってまだまだこの町を元気にし、地域力を高める力に必ずなってくれるはず。かつて私が学生だった頃、「地方の時代」という言葉がもてはやされた記憶がありますが、都市との格差が一層進展した今こそ、新しい地方の時代の実現に向け町民の皆さんとともに考え、汗を流していきたいと思えます。

結びになりますが、本学同窓会員は今年の3月現在で9万人を超えていました。明治の創成記から途絶えることなく、北海道はもとよりこの国を支える有為な人材を世に送り出し続けている本学に心から敬意を表し感謝を申し上げます。目には見えませんが、道内外の様々な分野で根を張り活躍する同窓のネットワークを非常に心強く思い、今後とも色々な場面で支え合えることを念願し雑文を締めさせていただきます。今後ともよろしくお願ひします。



広大な鶴沼ワイナリーのほ場から樺戸連峰を望む



カタクリとエゾエンゴサクの群生地に現れるエゾリス。新聞や雑誌で頻繁に取り上げられる町の人気者です。



有害鳥獣は丁寧に処理され高級食材に。淡泊な中にも野趣の味わい、まさに絶品です。

OPEN SPACE

オープンスペース

コロナ禍に伴う同窓会特別奨学金の給付について

コロナ禍で経済的に就学が困難になった学生への支援要請が昨年度に引き続き今年度も大学よりありました。同窓会は昨年度に限り特別奨学金として6万円を82名に総額492万円を給付しましたが、依然として感染状況の収束が見込めず影響が続いているため、今年度も同額の支援給付を決定しました。

令和3（2021）年度北海学園大学同窓会第1種奨学金の給付

平成27（2014）年より継続支給している北海学園大学同窓会第1種奨学金（年額12万円）の給付学生19名が決定しました。認定証授与式は新型コロナウイルス感染防止のため中止しました。

第1種奨学金給付学生（19名）

経済学部1部経済学科	4年	原田 和弥
経済学部1部地域経済学科	2年	青木美来里
経済学部2部経済学科	2年	成田 椋亮
経済学部2部地域経済学科	3年	佐々木 凜
経営学部1部経営学科	3年	齊藤 友音
経営学部1部経営情報学科	4年	三浦紗悠希
経営学部2部経営学科	3年	久保瑛理香
法学部1部法律学科	4年	三浦 千咲
法学部1部政治学科	4年	山崎 大地
法学部2部法律学科	3年	福島 龍誠

法学部2部政治学科	4年	石神 貴騎
人文学部1部日本文化学科	4年	高橋 駿太
人文学部1部英米文化学科	4年	渡邊 寧々
人文学部2部日本文化学科	4年	毛房 暖登
人文学部2部英米文化学科	4年	齊藤 未羽
工学部社会環境工学科	2年	島田 知
工学部建築学科	3年	鳥谷部好葉
工学部電子情報工学科	2年	藤井 翔大
工学部生命工学科	4年	干場菜々香

卒業記念アルバムバックナンバー頒布販売のお知らせ

卒業アルバム委員会発行の卒業アルバムは1980年から制作されていますが、2004年からは卒業式までを撮影し、カラー240ページという写真集のような体裁で、北海学園大学の1年を表しています。昨年はコロナ禍で卒業式が行われませんでした。今年は学部分散開催で無事卒業式が行われ卒業記念アルバムも6月に発行されました。

この度、同窓生の皆様で卒業アルバムをお持ちでない方のために、在庫のバックナンバー（1988年～2021年）を頒布販売いたします。ご希望の方は制作担当の株式会社ラボットまでお問い合わせください。在庫僅少の年度もありますので、ご希望に添えない場合はご容赦ください。（価格は14,000円～18,000円）



株式会社ラボット TEL.FAX.011-815-5307

メールアドレス hgu_album@labott.co.jp

食糧支援プロジェクト

コロナ禍の影響で仕送りやアルバイト収入が減り生活に困窮する学生を対象に昨年12月25日に教職員有志が食料品の配布会を大学内で行い、約300名に米やレトルト食品を配布しました。

今年1月26日には1部と2部の学生自治会執行部が連携し、教職員も資金や運営を支援して第2回目が開催され約1,000名の学生が参加し、米5kgを中心に配布しました。4月27日の第3回目と5月9日の第4回目は、大学生協と学生自治会が中心となって、両日合わせて約900名に配布しました。

支援は自治会費と教職員からの寄付、また多くの学外の方からの寄付や物資の提供と学生の地域研修の訪問先、連携協定を結んでいる自治体やOBのいる企業からの提供で行われています。

同窓会からも精米5kgを500袋、2kgを100袋、合計100万円相当を7月22日(木)、23日(金)に開催された第5回食糧支援プロジェクトに提供しました。

同窓会は今後も支援を継続していく予定です。



生協食堂「G'café」での会場設営をする学生と生協の皆さん



提供された米、レトルト食品、ミニトマト



住所等変更届はがきについて

会員の皆様には住所、氏名、勤務先に変更があるとき、同封の住所等変更届はがきにてご連絡をお願いしておりますが、ご本人確認ができないケースがあります。

同姓同名の方がいらっしゃるため会員番号、卒業学部、卒業年のご記入をお願いいたします。現在9万名以上の卒業生がいます。

ご本人確認のためご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

令和3年度 事業計画

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

今年度の事業計画は、新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から自粛もしくは中止とする場合がありますが、本会の目的を達成するため、次の一般事業活動を展開するとともに、継続中の特別事業の学園創基・大学創立及び本会結成を記念した事業を継続推進することを提案いたします。

なお、新型コロナウイルス感染症の状況が刻々と変化します。ホームページにてご報告を随時させていただきます。

I. 一般事業

1. 会報の発行

豊平会報第87号・第88号を発行し、会員に送付する。また、予備会員である在生にも配布する。

2. 支部等との連携強化と育成

地域支部・職域支部・同期会・クラブOB会などと連携を深め、支部活動や同期会・OB会活動を活性化するとともに、要請がある場合は「個人情報保護法」に基づき利用目的を明示したうえで会員の住所等の提供をおこない、支部支援を図る。また、支部の活動活性化のために助成をする。

3. 新会員名簿の作成

令和3年度新会員(令和3年9月・令和4年3月卒業)名簿の作成、また、配付については、個人情報保護法との関連で見合わせる。

4. 卒業祝賀会・新会員入会歓迎会の開催

令和3年度卒業祝賀会・新会員入会歓迎会を、大学院・大学の卒業証書・学位記授与式(3月21日(月・祝))終了後、大学・学生自治会と共催で開催する。

5. ホームカミングデーの開催

同窓会・大学共催による第13回ホームカミングデーを、10月9日(土)開催する。

6. 全国支部長会議の開催

総会・懇親会に集う全国の支部長より支部活動報告・意見交換を、10月23日(土)開催する。

7. 総会・懇親会の開催(前年度中止のため繰り延べる)

本年度総会担当の世話人会を経済学部1部経済学科53期(平成18年卒)同経営学科39期(平成19年卒)・経済学部2部経済学科40期(平成8年卒)同経営学科28期(平成8年卒)・法学部1部35期(平成13年卒)同2部35期(平成13年卒)・工学部社会環境工学科1期(平成18年卒)・建築学科35期(平成18年卒)・電子情報工学科24期(平成26年卒)・人文学部1部日本文化学科23期(平成31年卒)・同1部英米文化学科23期(平成31年卒)同2部日本文化学科23期(平成31年卒)同2部英米文化学科23期(平成31年卒)及び体育会本部OB会、体育会OB連合会、文化協議会OB会、応援団OB会、クラブOB会、ゼミOB会、地域・職域支部等の協力により、10月23日(土)総会を開催する。

8. 母校行事への協力

予備会員である在生及びクラブの活動に対して助成をする。学校行事を通じて、大学との交流を促進する。

II. 特別事業

1. 学園創基・大学創立及び本会結成を記念した国際交流基金造成事業として、北海学園国際交流基金への寄付を継続してきたが、北海学園が同基金を取り崩し、学園設置校の国際交流教育活動への効果的な支出ができる国際交流教育振興資金としたため、本会としては引き続き国際交流事業を継続し、今年度100万円を国際交流教育振興資金に寄付する(31回目)。

2. 北海学園大学同窓会奨学支援規程及び同実施細則に基づく本会奨学事業を実施するため、今年度230万円を加算積み立てるとともに、228万円を奨学金として支出する。なお、新型コロナウイルスによる困窮学生支援のため、緊急措置として今年度も給付金を支出することがある。

3. 総合名簿作成事業積立金として、今年度20万円を加算積み立てる。

4. 大学・同窓会のオリジナルグッズ等について、小委員会で検討の上、作成作業を進める。

令和2年度 事業報告

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

1. 一般事業

1. 豊平会報の発行

豊平会報 第84号 送付	2. 4. 15	経・営・法・人・工学部の住所確定会員	42,092名に送付
豊平会報 第85号 印刷・送付	2. 9. 15	経・営・法・人・工学部の住所確定会員	42,800名に送付
	2. 9. 30	新会員(令和2年9月卒業)	110名に配布
豊平会報 第86号 印刷・配布	3. 3. 19～20	新会員(令和3年3月卒業)	1,792名に配布
		(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため卒業証書・学位記授与式は2日に分けて開催)	
		また、予備会員である在生にも配布した。	

2. 支部等との連携強化(支部等活動状況(予定)～同窓会本部に連絡のあった分)

新型コロナウイルス感染リスクを避けるため各支部へ総会の自粛または延期をするよう依頼をしたため、北海学園大学支部以外の開催は中止された。

2. 4. 18	苫小牧支部総会	中止	2. 7. 4	応援団OB尚志会総会	中止
2. 4. 18	写真部OB会総会	中止	2. 7. 10	釧路支部総会	中止
2. 4. 18	山岳部OB会総会	中止	2. 7. 10	北海学園大学支部総会	実施
2. 4	グリーンクラブOB会総会	中止	2. 7. 22	東園会総会	中止
2. 5. 22	札幌南区支部総会	中止	2. 7	岩田地崎建設支部総会	中止
2. 5. 23	帯広信金支部総会	中止	2. 7	札幌東区支部総会	中止
2. 5. 24	鶴牛会総会	中止	2. 7	札幌市役所支部総会	中止
2. 5	江別市役所支部総会	中止	2. 8. 29	江別支部総会	中止
2. 5中旬	岩見沢市役所支部総会	中止	2. 9	経三期会総会	中止
2. 5下旬	千歳支部総会	中止	2. 10. 1	ゆうほう会総会	中止
2. 5下旬	小樽支部総会	中止	2. 10. 24	経八期会総会	中止
2. 6. 5	静内支部総会	中止	2. 1	会計学友会総会	中止
2. 6. 5	経五期会総会	中止	2. 11. 13	根室支部総会	中止
2. 6. 6	経六期会総会	中止	2. 11	旭川支部総会	中止
2. 6. 13	関西支部総会	中止	3. 1. 上旬	豊陽会総会	中止
2. 6. 19	北翔会総会	中止	3. 2. 19	木端会総会	中止
2. 6. 26	道南支部総会	中止	3. 2. 20	北社会総会	中止
2. 6～8	空知支部総会	中止			

3. 新会員名簿の作成(豊平会報 令和元年度版)

令和元年度新会員(令和元年9月卒業・令和2年3月卒業)名簿を作成した。なお、配布については、平成17年4月施行の「個人情報保護法」の取り扱いとの関係で、見合わせる事とし、慎重に対応していく事とした。

4. 「卒業祝賀会・新会員入会歓迎会」の開催

3. 3. 19～20

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、卒業証書・学位記授与式は学部・研究科別に2日に分けて開催されたが、卒業祝賀会・新会員入会歓迎会は中止された。卒業証書・学位記授与式で新会員(1,792名)に卒業記念品を配布した。

5. 「ホームカミングデー」の開催

2. 10. 10

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため同窓会・大学共催による第13回ホームカミングデーは中止した。

6. 「全国支部長会議」の開催

2. 10. 24

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

7. 「総会・懇親会」の準備・運営

世話人・協力団体会議

(第1回) 2. 8. 20

(第2回) 2. 9. 17

「同窓の夕べ」総会・懇親会 2. 10. 24

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため「同窓の夕べ」総会・懇親会は中止したため第1回・2回とも会議は開催しなかった。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

8. 母校行事への協力

お祝いの看板(祝卒業)

(祝卒業) 3. 3. 6

(祝卒業) 3. 3. 9

(祝卒業) 3. 3. 9

(祝卒業) 3. 3. 9

(祝入学) 3. 3. 22

(祝入学) 3. 3. 24

(祝入学) 3. 3. 24

各団体への経費助成

3号館 学生正面玄関取付け

4号館 入口前門柱取付け

工学部 1号館前柱取付け

工学部 3号館入口取付け

3号館 学生正面玄関取付け

4号館 入口前門柱取付け

教育会館入口取付け

全国大会出場・定期演奏会等助成

体育会系5団体・文化会系3団体

9. 会務運営に関する諸会議

会計監査 2. 6. 24

幹事会(第1回) 2. 7. 21

幹事会(第2回) 2. 6. 3

臨時評議員会 2. 8. 20

幹事会(第3回) 2. 9. 3

幹事会(第4回) 3. 1. 15

副会長会議 2. 9. 15

正・副会長会議(第1回) 2. 6. 25

(第2回) 2. 12. 15

事務局会議 2. 8. 18

会報部会(第1回) 2. 6. 上旬

(第2回) 2. 11. 11

学生部・事務部と協議

II. 特別事業

1. 学園創基・大学創立及び本会結成を記念した国際交流基金造成事業として、北海学園国際交流基金へ寄付を継続してきたが、北海学園が同基金を取り崩し、学園設置校の国際交流教育活動への効果的な支出ができる国際交流教育振興資金としたため、本会としては引き続き国際交流事業を継続し、100万円を国際交流教育振興資金に寄付する(30回目)。

2. 北海学園大学同窓会奨学支援規程及び同実施細則に基づく本会奨学事業を実施するため、今年度230万円を加算積み立てるとともに、228万円を奨学金として支出した。なお、新型コロナウイルスによる困窮学生支援のため、緊急措置として今年度限り493万円を加算積み立てるとし492万円を奨学金として支出した。

○奨学事業の実施に関する諸会議

奨学生選考委員会	2. 7. 21	(1) 奨学生選考について
		(2) その他
奨学生認定証授与式		(中止) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

3. 総合名簿作成事業積立金として、今年度20万円を加算積み立てた。

4. 大学・同窓会のオリジナルグッズ等について、各種事業中止のため検討されなかった。

令和2年度 収支決算書

北海学園大学同窓会 令和2年度 収支決算書

自:令和2年4月1日 至:令和3年3月31日(単位:円)

Main financial statement table for the 2020 fiscal year, showing income and expenses across various categories like membership fees, interest, and administrative costs.

(注) 1. 次年度繰越 1. 一般会計 3,144,186(北洋銀行・普通預金) 2. 特別会計(予備金費) 119,685,000(北洋銀行・定期預金) 3. 特別会計(特別事業) 358,488,416(教育支援特定預金・総合制作事業積立)(北洋銀行・定期預金)

監査報告書

北海学園大学同窓会 会長 森本 正夫 殿

令和3年5月11日

私ども会計監事は、北海学園大学同窓会の令和2年度(令和2年4月1日～令和3年3月31日)収支決算書について監査を行った結果、下記の通り報告致します。

- 1. 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、収支決算書の記載と合致していることを認めます。
2. 金銭出納簿、その他会計関係諸記録は、その状況を正しく示していることを認めます。
3. 事業計画に基づき業務遂行がなされ、また、幹事会も適切に運営・実施されていることを認めます。

監事

氏名 横谷 貞夫

監事

氏名 櫻田 久

監事

氏名 高岡 昌和

令和3年度 予算

北海学園大学同窓会 令和3年度 予算

自:令和3年4月1日 至:令和4年3月31日(単位:円)

Budget statement table for the 2021 fiscal year, detailing planned income and expenses for the coming year.

クラブ・サークル活動通信

卒業生、サークルOB・OGの皆さん、 応援よろしくお願いします！

【ボクシング部】 主将 大沼 優太 経済学部経済学科 4年

ボクシング部は創部 52 年を迎えました。昨年度から今年度
 に向け、リングの改良や安全性の高い練習用具の準備を大学
 にしていただきました。また指導面に関しても恵まれています。
 特に外部指導員の方には、技術面や格闘技競技者としてのあり
 方についてはもちろん、競技以外の側面からも数え切れないサ
 ポートをしていただいています。加えて、OB 会である北
 拳会からも助力をいただきながら、我々は今日を迎えています。

昨今問題となっている感染症の影響で競技大会が縮減され
 た昨年度は、施設の修繕に力を入れました。前例のない大規
 模な掃除から始まり、グローブ掛けの新設、壁面の塗装など、
 大学に提供していただいている施設の維持・管理に努めてきま
 しました。現在の目標は、全国レベルの大会に 3 つ以上の階級で
 競技者を輩出することです。そして、いつの日か、ボクシング
 部が北海学園大学の顔のひとつとして多くの方に認知される日が来ることを目指して、我々は日々精進していきます。



【自然科学部】 代表 奥村 美里 工学部電子情報工学科 2年



自然科学部は現在 4 年生 1 名、3 年生 1 名、2 年生 10 名の計 12 名
 で活動しています。私たちは昨年未公認団体としての活動からスタート
 を切り、今年から山鼻キャンパスにて公認団体として活動します。活動
 内容は自然科学（数学やプログラミングを含む）に纏わるテーマを各自
 提案し、そのテーマについての理解を深めていくという部活です。昨年
 は「宇宙科学チーム」と「プログラミングチーム」に分かれ、チームご
 とに自然科学に対する理解を深めていきました。今年の 3 月には新型コ
 ロナウイルスの対策を練り、「学生と教授」の方限定で人数制限の中で年
 度末発表会を行うことができました。発表会の内容はもちろん、発表会
 をするにあたって何が必要かを考えることも部員一同勉強になりました。

いつか OB、OG の皆様に発表会に足を運んでいただけるよう、部員
 共々精進して参りますので、これからもご声援のほどよろしくお願いいたします。

事務局からのお知らせ

◆支部長交替

- 豊陽会** 令和 3 年 4 月 1 日付（評議員兼務）
西村 修一 氏 ⇒ 元紺谷 尊広 氏（昭和 61 年法学部卒業）
- 北社会** 令和 3 年 4 月 1 日付（評議員兼務）
湯口 雄司 氏 ⇒ 山越 明博 氏（昭和 57 年工学部卒業）
- 帯広信用金庫支部** 令和 3 年 6 月 30 日付
澤崎 亨 氏 ⇒ 阿部 秀男 氏（昭和 63 年経済学部卒業）

住所変更の際はご連絡をお願いします

お手数でも同封の「住所等変更届はがき」（無料）または、ホームページ
 (<https://www.hgu-dousoukai.org/address/>)、FAX (011-816-1001)
 にて、同窓会事務局までお知らせくださいますようお願いいたします。個人
 情報は同窓会活動以外には使用いたしません。

北海学園大学同窓会

〒062-8605 札幌市豊平区旭町 4 丁目 1-40
 TEL : 011-841-1161 (内線 1148・1168) FAX : 011-816-1001
 E-Mail : doso.hgu@k8.dion.ne.jp
 ホームページ : <http://www.hgu-dousoukai.org/>



旧北海中学校（北海学園大学旧校舎）

梅本 成利 作

プロフィール：経済学部経済学科 昭和57年卒業